



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308
四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無:有
四半期決算説明会開催の有無 :有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益 又は損失(△)		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,454	23.2	1,079	-	1,305	819.9	907	-
2020年3月期第3四半期	27,149	△16.5	△1	-	141	△79.0	△144	-

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,424百万円(-%) 2020年3月期第3四半期 △61百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益 又は1株当たり 四半期純損失(△)	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	21.82	21.81
2020年3月期第3四半期	△3.70	-

(注) 1. 2021年3月期第3四半期について、営業利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率については、2020年3月期第3四半期が、営業損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため記載しておりません。

2. 2020年3月期第3四半期について、営業損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため、各項目の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	22,708	13,785	59.7	326.04
2020年3月期	18,986	12,448	64.6	294.90

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,561百万円 2020年3月期 12,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	2.50	2.50
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	5.33	5.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:有

2021年3月期末配当金の内訳 普通配当 4円33銭 記念配当 1円00銭 (東証一部市場変更及び設立20周年記念配当)

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,200	26.5	1,230	524.0	1,400	244.1	900	446.4	21.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2. 1株当たり当期純利益は、当第3四半期累計期間の期中平均株式数（自己株式を除く）である41,589,141株を通期の期中平均株式数と仮定して算出しております。

3. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）: 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	41,594,800株	2020年3月期	41,588,500株
2021年3月期3Q	—株	2020年3月期	—株
2021年3月期3Q	41,589,141株	2020年3月期3Q	38,988,043株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会及び四半期決算説明会資料の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2021年2月10日（水）に機関投資家・証券アナリスト・報道関係・株主向け決算説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日)の当社グループにおきましては、主力の広告事業は、スマートフォン向け広告サービス「UNICORN」の機能学習が更に向上し、高い広告効果を得られることで認知度が高まり、広告主(クライアント)や当社以外の代理店からの広告費が増加したことにより、売上高も大幅に伸長いたしました。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う可処分時間の増加等を背景に、マンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要が高まったことに加え、大型新作ゲームアプリのリリースやキャンペーンの開始により、ゲームアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告費も増加いたしました。なお、第1四半期連結会計期間で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業も回復基調をたどっております。

以上により、前年同期比に対して売上高は増収、利益におきましても増益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第3四半期 連結累計期間 (2020年3月期)	当第3四半期 連結累計期間 (2021年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	27,149,380	33,454,101	6,304,721 (23.2%)
営業利益 又は損失(△)	△1,051	1,079,394	1,080,445 (—)
経常利益	141,935	1,305,584	1,163,649 (819.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△144,285	907,327	1,051,613 (—)

(注) 前第3四半期連結累計期間において、営業損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失であるため、対前年同期増減率を記載しておりません。

売上高は、スマートフォン向け広告サービスの「UNICORN」が好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛による可処分時間の増加によりマンガアプリを展開する広告主(クライアント)の広告需要が高まりました。加えて、ゲームアプリを展開する広告主(クライアント)の大型新作ゲームアプリのリリースやキャンペーンの開始等による広告費の増加を受け、6,304,721千円増加の33,454,101千円(前年同期比23.2%増)となりました。

営業利益は、売上高及び売上総利益が増加したこと等により1,079,394千円(前年同期は1,051千円の損失)、経常利益は、営業利益の増加に加え、投資事業組合運用益及び持分法による投資利益等が増加したことにより1,305,584千円(前年同期比819.9%増)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、投資有価証券の売却益等を計上したものの、投資有価証券評価損を計上したことにより1,284,872千円となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等を計上したこと等により907,327千円(前年同期は144,285千円の損失)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第3四半期 連結累計期間 (2020年3月期)	当第3四半期 連結累計期間 (2021年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
外部 売上高	①広告 事業	スマートフォン 向け広告	13,687,449	18,174,120 4,486,670 (32.8%)
		PC向け広告	10,617,702	10,504,865 △112,836 (△1.1%)
		合計	24,305,151	28,678,985 4,373,834 (18.0%)
	②メディアコンテンツ事業	460,269	539,779 79,509 (17.3%)	
	③海外事業	2,034,591	3,819,932 1,785,340 (87.7%)	
	④その他	349,367	415,404 66,037 (18.9%)	
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	①広告事業	1,502,500	2,486,710 984,210 (65.5%)	
	②メディアコンテンツ事業	45,635	49,254 3,618 (7.9%)	
	③海外事業	△273,922	△116,562 157,359 (—)	
	④その他	△61,834	△80,908 △19,073 (—)	

(注)セグメント利益又はセグメント損失のうち、海外事業及びその他の対前年同期比増減率は、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間においてセグメント損失であるため記載しておりません。

①広告事業

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、日本でのインターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第3四半期連結累計期間における広告事業のスマートフォン向け広告は、「UNICORN」の認知度が高まったことにより売上高が好調に推移したことに加え、特に第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う可処分時間の増加により、マンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要が高まりました。また、ゲームアプリを展開する広告主(クライアント)が、当第3四半期連結会計期間においても継続して大型新作ゲームアプリをリリースしたことやキャンペーンを開始したこと等の影響により広告費が増加し、売上高は18,174,120千円(前年同期比32.8%増)となりました。

PC向け広告は、主に新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、第2四半期連結累計期間において金融関連企業の新規顧客獲得抑制があり、金融関連企業の広告主(クライアント)からの広告費が減少したものの、当第3四半期連結会計期間においては回復基調がみられ、売上高は10,504,865千円(前年同期比1.1%減)となりました。

この結果、広告事業の売上高は28,678,985千円(前年同期比18.0%増)、セグメント利益は2,486,710千円(前年同期比65.5%増)となりました。

なお、スマートフォン向け広告は主にアプリ向け広告の売上高で、スマートフォンブラウザを介したweb広告の売上高はスマートフォン向け広告ではなく、PC向け広告に含めております。

②メディアコンテンツ事業

メディアコンテンツ事業は、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて土業向けのポータルサイト等の運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、第1四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動の制限をされておりましたが、徐々に緩和されてきたこと等により、売上高は539,779千円(前年同期比17.3%増)となり、セグメント利益は49,254千円(前年同期比7.9%増)となりました。

③海外事業

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポール等において、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間における海外事業は、スマートフォン向け広告において、中国でゲームアプリを展開する広告主(クライアント)の中国国外への展開強化に伴うグローバル広告配信の需要が増加したことに加え、中国EC事業者が展開する台湾向け広告配信の需要が大幅に増加したこと、並びに台湾におけるブランド広告主向けのブランディング広告の需要が高まったこと等により、売上高は前年同期比で大きく伸長いたしました。この結果、売上高は3,819,932千円(前年同期比87.7%増)となり、セグメント損失は116,562千円(前年同期は273,922千円の損失)となりました。

④その他

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第3四半期連結累計期間におけるその他については、インフルエンサーを活用した企画、コンテンツ制作に注力したことにより、売上高は415,404千円(前年同期比18.9%増)と増加したものの、新技術に対する研究開発に注力したこと等の要因により、セグメント損失は80,908千円(前年同期は61,834千円の損失)となりました。

(2)財政状態に関する説明

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	18,986,441	22,708,180	3,721,738 (19.6%)
負 債 合 計	6,537,986	8,922,463	2,384,476 (36.5%)
純 資 産 合 計	12,448,454	13,785,717	1,337,262 (10.7%)

[資産合計]

- ・流動資産は、前連結会計年度末より2,757,398千円増加し19,105,428千円となりました。主な要因は、現金及び預金が2,245,991千円増加したことによるものであります。
- ・固定資産は、前連結会計年度末より964,340千円増加し3,602,751千円となりました。主な要因は、投資有価証券が974,514千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は、前連結会計年度末より2,184,798千円増加し8,575,494千円となりました。主な要因は、買掛金が1,432,311千円及び未払法人税等が248,671千円増加したことによるものであります。
- ・固定負債は、前連結会計年度末より199,678千円増加し346,968千円となりました。主な要因は、その他に含まれる長期繰延税金負債が216,229千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・純資産は、前連結会計年度末より1,337,262千円増加し13,785,717千円となりました。主な要因は、利益剰余金が803,356千円及びその他有価証券評価差額金が498,846千円増加したことによるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われまます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携等を行うことで、取引の拡大と売上高の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。また、アジアをはじめとした海外においては、スマートフォン向け広告サービスの拡大を引き続き見込んでおり、各国の市場環境を鑑み、事業展開を行ってまいります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が再び増加していることを受け、感染拡大防止を図るため、在宅勤務を継続するとともに、オンラインツールを活用した営業活動を展開しております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における主力の広告事業におきましては、スマートフォン向け広告「UNICORN」の認知度の高まり、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛に伴う可処分時間の増加等を背景にしたマンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要の高まりに加えて、大型新作ゲームアプリのリリースやキャンペーンの開始により、ゲームアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告費が増加したこと等により好調に推移しました。加えて、海外事業におきましては、中国のゲームアプリを展開する広告主(クライアント)が中国国外への展開を強化したことに伴い広告費が増加したこと、並びに台湾におけるブランド広告主向けブランディング広告の需要が拡大いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に起因するマイナス影響は微少であり、総じて好調に推移いたしました。

現時点では新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響は上記のとおりであります。感染の拡大や終息時期によって著しく変化する事が想定されるため、今後も動向を注視してまいります。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の売上高は、47,200百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により1,230百万円を見込んでおり、経常利益1,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は900百万円を見込んでおります。

(剰余金の配当予想)

当社グループは、株主への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけております。2021年3月期の普通配当におきましては、当社の2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績見通し、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後における企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保を勘案した結果、親会社株主に帰属する連結当期純利益の20%の配当性向もしくは1株当たり配当金2円60銭と同額のどちらか高い方を配当の目処として期末配当を実施する方針といたしております。本方針より、現時点の業績予想及び配当性向20%から算出される1株当たり配当金4円33銭が2円60銭より高いため、現時点の普通配当予想は4円33銭といたします。

また、2020年12月7日に当社株式の上場市場が東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所市場第一部に市場変更されたこと並びに2021年2月28日に当社が設立20周年を迎えることを記念し、株主の皆様の日頃からのご支援に対する感謝の意を込めて、1株当たり配当金1円00銭の記念配当を実施する予定です。

その結果、2021年3月期の期末配当予想は1株当たり5円33銭に修正いたします。

なお、普通配当金額は配当性向20%に基づいて算出しておりますので、業績の結果により配当金額が変動いたします。また、新株予約権の権利行使等により株式数が増減した場合には、発行済株式数の変更に従い1株当たりの配当金額は変更されます。

当社の配当方針につきましては、2019年3月期から2021年3月期の3ヶ年においては第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向(当期は第21期であるため、親会社株主に帰属する連結当期純利益の20%)もしくは1株当たり配当金2円60銭のいずれか高い方を基準とする方針としております。

連結業績予想の修正及び配当予想の修正については、本日(2021年2月10日)開示いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,727,173	11,973,165
受取手形及び売掛金	5,812,299	5,822,416
たな卸資産	15,783	18,756
その他	826,228	1,327,525
貸倒引当金	△33,454	△36,435
流動資産合計	16,348,030	19,105,428
固定資産		
有形固定資産	235,321	161,627
無形固定資産		
のれん	15,395	8,947
その他	281,494	365,642
無形固定資産合計	296,890	374,590
投資その他の資産		
投資有価証券	1,600,064	2,574,579
その他	666,579	647,078
貸倒引当金	△160,445	△155,124
投資その他の資産合計	2,106,199	3,066,533
固定資産合計	2,638,411	3,602,751
資産合計	18,986,441	22,708,180
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,137,725	6,570,036
未払法人税等	84,921	333,593
賞与引当金	-	21,960
その他	1,168,049	1,649,904
流動負債合計	6,390,696	8,575,494
固定負債		
その他	147,290	346,968
固定負債合計	147,290	346,968
負債合計	6,537,986	8,922,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605,955	1,608,340
資本剰余金	6,835,593	6,837,977
利益剰余金	3,341,533	4,144,889
株主資本合計	11,783,081	12,591,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,628	759,475
為替換算調整勘定	220,921	210,896
その他の包括利益累計額合計	481,550	970,371
新株予約権	40,820	56,905
非支配株主持分	143,001	167,233
純資産合計	12,448,454	13,785,717
負債純資産合計	18,986,441	22,708,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)
売上高	27,149,380	33,454,101
売上原価	22,499,641	27,267,567
売上総利益	4,649,738	6,186,534
販売費及び一般管理費	4,650,789	5,107,140
営業利益又は営業損失(△)	△1,051	1,079,394
営業外収益		
受取利息	7,919	5,951
受取配当金	3,768	4,710
為替差益	12,929	-
補助金収入	14,078	8,763
持分法による投資利益	93,748	136,108
投資事業組合運用益	-	68,103
消費税等免除益	2,999	2,832
その他	20,257	10,951
営業外収益合計	155,700	237,421
営業外費用		
為替差損	-	10,618
投資事業組合運用損	9,437	-
その他	3,277	612
営業外費用合計	12,714	11,231
経常利益	141,935	1,305,584
特別利益		
関係会社株式売却益	12,467	-
投資有価証券売却益	54,061	131,005
特別利益合計	66,529	131,005
特別損失		
固定資産除却損	-	20,643
投資有価証券評価損	135,611	109,338
関係会社株式売却損	3,407	-
関係会社清算損	-	5,416
在外連結子会社リストラクチャリング費用	-	16,319
特別損失合計	139,018	151,718
税金等調整前四半期純利益	69,445	1,284,872
法人税、住民税及び事業税	55,088	353,696
法人税等調整額	150,376	△3,941
法人税等合計	205,464	349,754
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△136,018	935,117
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,266	27,789
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△144,285	907,327

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△136,018	935,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188,582	498,846
為替換算調整勘定	△102,919	△8,628
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,896	△1,177
その他の包括利益合計	74,766	489,040
四半期包括利益	△61,252	1,424,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,390	1,396,148
非支配株主に係る四半期包括利益	3,137	28,008

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	広告事業	メディア コンテンツ 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	24,305,151	460,269	2,034,591	26,800,013	349,367	27,149,380	-	27,149,380
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	338,383	-	34,291	372,674	68,447	441,122	△441,122	-
計	24,643,534	460,269	2,068,883	27,172,688	417,814	27,590,502	△441,122	27,149,380
セグメント利益 又は損失(△)	1,502,500	45,635	△273,922	1,274,213	△61,834	1,212,378	△1,213,429	△1,051

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,213,429千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	広告事業	メディア コンテンツ 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	28,678,985	539,779	3,819,932	33,038,697	415,404	33,454,101	-	33,454,101
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	891,521	-	37,945	929,466	50,477	979,944	△979,944	-
計	29,570,507	539,779	3,857,877	33,968,164	465,882	34,434,046	△979,944	33,454,101
セグメント利益 又は損失(△)	2,486,710	49,254	△116,562	2,419,402	△80,908	2,338,493	△1,259,099	1,079,394

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,259,099千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。